

# 広報ひらつか

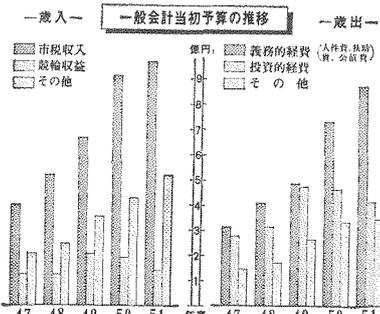
№.294 (4月号)

昭和51年4月15日/神奈川県平塚市役所発行/編集・企画室秘書広報課/ 発行所 平塚市役所 電話(22)1700-代表  
毎月15日/77,000部/全世帯配布(一部5円)/昭和31年10月3日 第三種郵便物認可 郵便番号254

## 予算概要

会計別予算額	
一般会計	162億3300万円
特別会計	187億5276万円
歳入歳出	132億9508万円
国民健康保険事業	24億2082万円
都市政造事業	10億4562万円
下水道事業	18億4084万円
農業共済事業	7249万円
食肉センター	3037万円
交通災害共済事業	2977万円
水産物地方卸売市場事業	1777万円
病院事業会計	26億9862万円
合計	376億8438万円

一般会計歳入予算額内訳	
市税収入	96億8485万円 (59.5%)
諸収入	24億5634万円 (15.1%)
国庫支出金	21億8766万円 (13.5%)
市債	4億3910万円 (2.7%)
県支出金	4億3145万円 (2.7%)
使用料及び手数料	3億4281万円 (2.1%)
繰入金	2億5932万円 (1.6%)
分担金及び負担金	1億2924万円 (0.8%)
その他	3億2223万円 (2.0%)
一般会計歳出予算額内訳	
民生費	32億8383万円 (20.2%)
土木費	31億1296万円 (19.2%)
教育費	29億8392万円 (18.4%)
総務費	20億3998万円 (12.6%)
衛生費	15億3585万円 (9.4%)
公債費	9億2757万円 (5.7%)
諸支出金	7億1839万円 (4.4%)
消防費	6億9639万円 (4.3%)
農林水産費	3億0270万円 (1.9%)
議会費	2億4190万円 (1.5%)
商工費	2億3571万円 (1.4%)
労働費	1億2880万円 (0.8%)
子備費	2500万円 (0.2%)



昭和五十一年度の予算は、併ひ、地政の確立の傾向が顕著であり、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。この変化は、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。この変化は、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。

## 欠かせない住民福祉



## 51年度予算

三月に開催された平塚市議会において、昭和五十一年度の予算が採択された。この予算は、一般会計百六十二億三千三百円、特別会計百七億五千七百七十九円、病院事業計百六億八千八百八十二円、で総額は百七十九億八千四百八十二円となっている。低成長時代における予算編成の要諦として、これら歳入の伸びを確保し、一般会計、今年にわけて六・七割の増、非増に苦しい予算となっている。しかし、このように低成長時代、市民生活に資する事業の増大、社会福祉の充実が、かたがた、若年労働人口の増大、福祉を定する等の要請が顕著な傾向を示している。それは、予算編成にあたって、平塚市の注目を集めて、総合計画四本柱の一つとして紹介しよう。

金銭に乏しいといわれる低成長時代、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。この変化は、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。

## 生活環境

- ▽消防防犯整備事業 二億七千八百五十円
- ▽消防ポンプ(十巻、消防ポンプ) 自動車購入、その他 五千万円
- ▽労働者健康対策(預託金) 五千万円
- ▽老人福祉関係費 五億二千八百八十三万円
- ▽老人福祉関係費、移動入浴車購入、施設整備費、その他 一億九千九百九十九万円
- ▽障害者福祉関係費、障害者福祉センター、児童福祉施設整備費、その他 一億三千四百四十四万円
- ▽児童福祉関係費、児童福祉センター、児童福祉施設整備費、その他 一億三千四百四十四万円
- ▽児童福祉関係費、児童福祉センター、児童福祉施設整備費、その他 一億三千四百四十四万円

## 移動入浴車の購入

このように、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。この変化は、市民生活の向上に資する事業が増加して、民生費、土木費の増大が、すでに顕著な傾向を示している。

## 都市基盤

- ▽市民センター広場整備事業 一千万円
- ▽市民センター(十巻) 五千万円
- ▽市民センター(十巻) 五千万円
- ▽市民センター(十巻) 五千万円
- ▽市民センター(十巻) 五千万円

## 教育文化

- ▽市民センター(十巻) 五千万円

## 産業経済

- ▽市民センター(十巻) 五千万円

## お知らせ

昭和38年から好評をいただいていた「今月の題」は、5月号から特派員による「今月の話題」に改題します。爽やかな春を満喫していただく名画館光さんには、心から感謝しお礼を申し上げます。さて、「今月の話題」は、市民の中から特派員を依頼し、その時々話題や市況、新聞など、興味や意見を寄稿していただくものです。この広報ひらつかから、さらにみなさんに親しいでいただければ幸いです。ご期待ください。

## 今年の★★七夕★★きまる

7月7日(水)～11(日)  
昭和26年に、平塚商業の中元販売促進策として商工会議所が始めた平塚七夕まつりも、今では市をあげてのまつりとなり、第26回目を迎えて全市的に普及し舞

士の伝統あるまつりとなった。日本一の竹藪の家華さは、全国に知られ仙台、尾張一宮と共に三大七夕まつりと並び、毎年約300万人の観光客を来している。今年は7月7日から11日までの5日間開催されることになった。

永い不況におけるまつりの開催となるが、3月23日に開催された七夕まつり実行委員会では、不況を吹き飛ばさんばかりの意気込みが感じられた。特に今年、より市民のまつりにしようと、市民全体に竹藪の掲出をお願いすることになった。



# 家族ぐるみで行こう

## 楽しい行事がいっぱい

### 4月29日→5月1日

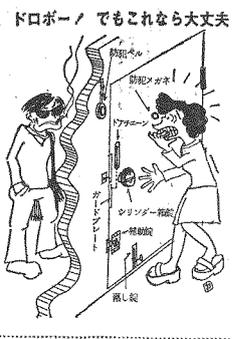
# 緑化まつり

公園緑地課では、先づおなじみの緑化まつりを、今年も開催します。緑化まつりは、市民の緑化意識を高め、緑化の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。今年も、市民の緑化意識を高め、緑化の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。

今年も、市民の緑化意識を高め、緑化の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。今年も、市民の緑化意識を高め、緑化の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。

# 空巣に休日はない

## 出かける前に必ずカギを



ドロボー！でもこれなら大丈夫

空巣に休日はない。出かける前に必ずカギを。空巣に休日はない。出かける前に必ずカギを。空巣に休日はない。出かける前に必ずカギを。

空巣に休日はない。出かける前に必ずカギを。空巣に休日はない。出かける前に必ずカギを。空巣に休日はない。出かける前に必ずカギを。

# 緑化まつり行事

- ◇植木市 (10時～16時) 3日間
 

静岡、埼玉、東京や県内の植木産地が出店し安値で販売する。なお、第1日目と第3日目の午前と午後とにわけ、時間を限定して「植木のせり市」を行う予定。
- ◇緑化相談コーナー (10時～16時) 3日間
 

開閉害虫、施肥、肥料、盆栽、剪定等につき市民の疑問の点について、県の専門官に講師を依頼し、助言指導を行う。
- ◇模範花壇 (10時～16時) 3日間
 

県立平塚農業高校の生徒による模範花壇を会場内2か所に設置して、市民のみなさんの目を楽しませてくれる。
- ◇花壇展示 3日間
 

湘南地区造園業者に依頼して、市庁舎南側に花壇を展示、市民に鑑賞してもらおう。なおまつり終了後も5月12日頃まで展示する。
- ◇緑化募金 (10時～16時) 3日間
 

会場内に募金箱を設置する。この機会に緑の意識の徹底を図る。
- ◇苗木配布 4月29日、5月1日 10時～16時
 

往復がきで申し込み込込で、引き換え券をお持ちの方に先着順で配布する。
- ◇サボテン展示即売会 (10時～16時)
 

サボテンの販売と育て方等いろいろな相談になる。
- ◇花き展示 (10時～16時) 3日間
 

園芸協会会員による花き展示で、日ごろ熱心に栽培、育成したものを鑑賞してもらおう。
- ◇草箱づくり教室 児童、生徒を対象に野鳥を増やす草箱を作る。材料は緑化募金をした人にさし上げる。
 

4月29日 10時～12時  
5月1日 14時～16時
- ◇鉢物・草花即売 (10時～16時) 3日間
 

園芸協会会員、花箱組合員による草花等の即売をする。

# 市に苗木寄贈

公共施設に配布  
緑化事業を促進するため、市民の緑化意識を高め、緑化の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。

# 行楽期の火災予防

宿泊する場合の心がまえ  
いよいよ春の行楽シーズン。緑化まつりも開催されています。市民の緑化意識を高め、緑化の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。

# 市長の手紙

>3<

# 福祉を考える

福祉とは、社会の経済的、身体的、精神的苦痛を軽減し、市民の生活の質を向上させることです。市民の生活の質を向上させるためには、福祉の充実が必要です。

福祉とは、社会の経済的、身体的、精神的苦痛を軽減し、市民の生活の質を向上させることです。市民の生活の質を向上させるためには、福祉の充実が必要です。

# 四月から消防

## 相談所を開設

消防課では、四月一日から消防相談所を開設します。市民の消防意識を高め、消防の推進を図ることを目的として、毎年開催されています。

# 錦町駐車で定期券を発行

通勤者に便利な駐車場 1か月4,500円

- ◆発行枚数 50枚
- ◆申込書交付 4月17日～21日 錦町・紅谷町駐車場、市役所市民相談室、駅ビル連絡所
- ◆資格 運転免許証を持っている方で、平塚市に住んでいる方あるいは市内に勤務している方
- ◆定期代 1か月 4,500円
- ◆申込み受付 4月17日～22日 (午前9時～午後8時まで) 錦町駐車場管理事務所にて受け付ける。申込みは1人(1免許証)1申込みとする。なお、申込みが多数の場合、抽せんとする
- ◆利用の注意
  - 定期券は5月1日から利用できる
  - 日曜、祝祭日は利用できない
  - 営業時間は午前8時～午後8時30分
  - 定期券の購入資格は1年間
  - 夜間の置き放しは自由
  - ◆場所 国道1号線、市民センター前

TEL (22) 1700 内線338

# 固定資産税の納期変更

昭和51年度分の固定資産税、都市計画税および軽自動車税の納期を変更します

□固定資産税・都市計画税の第1期分  
4月1日から同月30日までを  
5月1日から同月31日まで

□軽自動車税  
4月11日から同月30日までを  
5月1日から同月31日まで

総務部資産税課











